

令和元年度 生徒による授業評価の分析と改善方針(1学年)

	集計結果による分析	改善方針
国語	概ねどの項目もよい評価であるので、授業内容への満足度、自身の授業への取り組みともに良好な状態であることがうかがえる。さらなる授業内容の充実に取り組むことが今後の課題である。	作文、話し合い等、生徒が主体的に取り組む授業内容は、2学期以降さらに拡充させていきたい。また、説明を補助するプリントを配布し、生徒に理解力を身に付けさせたい。
社会	どの項目も「当てはまる」の回答が80%以上と全体的には良好な評価であったが、項目6はやや「当てはまらない」という回答の割合が高く、「知識をもとに考えをまとめたり課題の解決方法を考える」といった活動が不足していることが伺える。	2単位のため授業時数の関係で限界があるが、課題解決を考えさせる授業をできるだけ増やしていく。
数学	<p><数学I> 項目1でほぼ9割、その他の項目でほぼ8割の生徒が満足している。基礎基本の定着を重視して授業内容については教える側で教材の工夫を日々行っており、分かりやすい説明を心がけている。積極的に学習意欲の高い生徒が多く、「生徒主体の授業」がまだ十分意識化されていないのが現状である。</p> <p><数学A> 集合や順列・組合せなど「新しい数学」を学んでいる数学Aの特性から、なかなか「生徒主体の授業」を実現することは難しく、教える側主導で授業展開していかねばならないところがある。内容的に、単なる計算ではなく、かなりの思考力を要する科目なので理解に苦しむ生徒がいる。</p>	<p><数学I> 生徒の学習の拠点が学校にあり、予習・復習などの家庭学習が十分に行えていない状況で、学校での学習・家庭での学習が有機的に結び付くような指導・展開が今後期待される。</p> <p><数学A> 「授業の充実感」を重点課題として、それが得られる授業内容、構成になるよう、具体例を挙げながら社会との関わり実感できるように工夫する。また、理解度の高い生徒には、発展的な内容も扱い達成感を与えたい。</p>
理科	質問項目の中で比較すると、項目3と4に「かなり当てはまる」「ほぼ当てはまる」人数が多く、項目5と6に「あまり当てはまらない」「ほとんど当てはまらない」人数が目立った。この結果から、問題演習等を通して、解決方法について考える時間は確保でき、ある程度理解した生徒もいた一方で、解決に至らなかった生徒も一定数いることが分かった。	普段の授業でも、問題演習を行うと、ほとんど手が動かない生徒がクラスに1～2名いる。なるべく、そのような生徒に積極的に声をかけ、生徒同士の相談を促すようにはしている。これは継続していく。2学期は、物質量の計算でつまづく生徒も多いため、状況に応じて中学校の単項式の計算の復習を扱い、指数の計算に時間をある程度かける予定である。
体育	集団行動・陸上競技・選択種目を行った。授業中の態度や意欲は特に問題なく、一生懸命与えられた課題をこなしていた。後半は選択種目であったがそれでも「もっと種目選択を増やしてほしい」などの要望があった。「もっとたくさん体育の授業があったらいい」とても楽しい」などの感想があった。授業に対して意欲的に取り組んでいる生徒が多く、充実度は高い。どの項目でも高い評価を得ている。	特に問題はないが、施設充実が可能であれば、さらに良い授業を展開できると思う。今やっている授業をより充実させ、生徒の意欲・関心を低下させない授業展開が大切である。また、将来のスポーツ活動に役立つ知識や技能の習得に役立つ教材の精選や指導を心がける必要がある。特に問題はないが、施設充実が可能であれば、さらに良い授業が展開できると思う。今やっている授業をより充実させ、生徒の意欲・関心を低下させない授業展開が大切である。また、将来のスポーツ活動に役立つ知識や技能の習得に役立つ教材の精選や指導を心がける必要がある。
保健	「現代社会と健康」の内容を行った。どのクラスも問題なく授業を受けている。「授業の説明がわかりやすい」「知らないことを知ることができていい」などの感想があった。体育同様、充実度と、学習への取り組みは、高い値になった。	特に問題はない。今やっている授業をより充実させ、生徒の興味・関心を引く教材の精選や授業の展開方法や、生徒主体とする授業の工夫が必要である。グループワークを工夫して取り入れる。
美術	授業の在り方について(①③)、学習の状況について(④⑤⑥⑦)80%以上が「とても当てはまる」、「だいたい当てはまる」であったが、②では79%であった。1学期は短時間で多くの課題を制作する基礎的な内容でしたが、提出状況などは良く、全体的には良い取り組みであったと感じていたが、指導方法としては課題を考える時間を増やす必要があると感じた。	2学期は時間をかけた課題となるので、生徒の個性を十分に発揮できるように、教材研究を徹底したい。毎回、授業での到達目標を設定して、進度の差がでないようにする。
音楽	項目4の「授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた」と感じている生徒が多いことが分かった。しかし、例年よりも各項目の満足度が低く残念な結果であった。	2学期は歌唱中心の授業になるので、充実感、満足感を与えられるように教材研究を徹底したい。生徒同士が話し合う機会や意見を発表しあう機会を設け、生徒が主体となる授業を心がけて学習への意欲を高めていく。
英語	<p><コミュ英I> 授業で振り返りの機会・考えを広げ深める機会・課題解決の機会や考えをまとめる機会があるが、「できた」という実感を持っていない生徒がいる。</p> <p><英表I> 全項目において、かなり当てはまる・ほぼ当てはまると答えた割合が80%を超えている。しかしその中で、項目5「他者の考えを知ることにより、新たな考え方を考えるなど、自らの考えを広げ深めることができた」が他の項目より当てはまらない割合が多かった。</p>	<p><コミュ英I> 授業を通して生徒が自身の成長を実感できるように、進捗や内容が生徒の理解度に沿ったものになるよう配慮し、個別の声かけを増やしていく。</p> <p><英表I> 各自で考える時間を確保しながらもペアワークやグループワークの時間を取り、クラスメイト同士がコミュニケーションをとりながら、他者の考え方を考えるように配慮する。</p>
家庭	家庭基礎において、項目2「単元の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある」と、項目5「他者の考えを知ることにより、新たな考え方を考えるなど、自らの考えを広げ深めることができた」で「かなり／ほぼ当てはまる」回答が83%と他の項目より低いという結果であった。	1学期に実施した被服実習などは、生徒にとって充実・達成感を得やすいが、座学において個別に思考する場面を設けても、それを発表したり、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める場面設定があまりなかった。もう少しゆとりをもって生徒に合わせた授業進捗・授業計画を心がける。
情報	すべての項目で20パーセント弱の生徒が「あまり当てはまらない」もしくは「ほとんど当てはまらない」を選択している。情報モラルや著作権など、直接、生活していくうえで必要であるものを行ったことが原因であると思われる。	2学期以降はプレゼンテーションなど座学ではなく実習を伴うものを行うため、同じような結果となることはないと思われる。生徒がより積極的に参加し、主体的に学習できるように授業改善を進めていく。

令和元年度 生徒による授業評価の分析と改善方針(2学年)

	集計結果による分析	改善方針
国語	『現代文』・『古典講読』、C帯『古典基礎』すべてに共通して、授業の在り方について、ほぼ満足な状態であるということがうかがえるが、学習の状況については授業で学んだことをさらに深めることができたと回答した生徒が少ないので、改善をする必要があると考えられる。	作文・話し合いといった文字通りの「生徒主体」の授業ももちろん重要であるので、そのような場面を多くすることに努める。また、生徒が意欲的に取り組むことこそが主体的に学ぶことの充実感につながるため、あらゆる場面で生徒の「もっと学びたい」という意欲を喚起させるよう工夫していく。
社会	<p><日本史A> どの項目も「当てはまる」の回答が85%以上と全体的には良好な評価であったが、項目5・6はやや「当てはまらない」という回答の割合が高く、「他者の考えを知る」「知識をもとに考えをまとめたり課題の解決方法を考える」といった活動が不足していることが伺える。</p> <p><世界史A> すべての項目で「かなり当てはまる」「ほぼ当てはまる」が9割程度とおおむね良好な評価になった。ただ、項目6で「当てはまらない」との回答が10%程度と2桁に達していることもあり、自分の考え方をまとめたり、課題の解決方法を考えたりする活動が十分でないことが伺える。</p> <p><地理A> どの項目も「当てはまる」という回答が多く、選択教科でもあることから意欲的に取り組んでいたと思われる。</p>	<p><日本史A> 2単位のため授業時数の関係で限界があるが、生徒が自己の考えをまとめたり、他者の考えを知る機会をできるだけ増やしていく。</p> <p><世界史A> 授業の進捗との兼ね合いを考慮する必要があるものの、自分の考えや課題解決の方法を考えたりする活動を増やしていく。</p> <p><地理A> 項目2について「当てはまらない」との回答がみられるので、グループワークや発表の機会を設けてお互いの考えを知り、興味を深められるようにする。</p>

数学	<p><数学Ⅱ> 多くの項目において90%以上の生徒が「かなり当てはまる」「ほぼ当てはまる」と回答しており、概ね良好な結果が得られたが、項目5と項目7が少し低かった。時間数に対して扱う内容が多く、教科書中心の進めるだけの授業になり、理解が不十分な生徒が多くなったためだと思われる。</p> <p><数学B> 項目1、項目2、項目3については80%近い生徒が「かなり当てはまる」「ほぼ当てはまる」と回答しているが、それ以外の項目については70%以下と低い結果となっている。三角関数を学ぶために必要なこれまでに学んできた内容の理解が不十分なためだと思われる。</p> <p><発展数学> 選択生徒は全員が理科系であるため、多くの項目で80%以上の生徒が「かなり当てはまる」「ほぼ当てはまる」と回答している。一方で、難易度が高く論理的な思考を必要とする演習をしているので、理解度の差があり、項目4、項目7では「かなり当てはまる」「ほぼ当てはまる」が80%を切っている。</p>	<p><数学Ⅱ> 指数関数、対数関数、微分積分とさらに授業内容も高度になっていくため、基礎基本の習熟を図りながら、進度・内容を工夫していく必要がある。</p> <p><数学B> ベクトルや数列もこれまでに学んできた内容の延長線上にある単元である。そのため、基礎基本の習熟を図りながら、進度・内容を工夫していく。</p> <p><発展数学> 理解度の差を埋めるため、予習復習を含む自宅学習の機会を多く持つように指導し、理解力の高い生徒に対しては、より高度な演習をすることにより学力を伸ばす。</p>
理科	<p><生物基礎> 質問項目の中で比較すると、項目2と3の「あまり・ほとんど当てはまらない」の人数が多く、項目4と7の「かなり・ほぼ当てはまる」の人数が多い。このことから、授業中、問題演習をする時間が中々とれず、生徒の考え等を聞く機会が少なかったが、問題集や授業中扱った問題等を取り組む生徒は一定数存在し、それらを通して理解を深めていることが分かった。</p> <p><物理基礎> どの項目も約1/4の生徒が否定的な評価をしている。等加速度直線運動を定量的に理解するための計算(掛け算・割り算)やグラフの解釈を苦手とする生徒にとっては辛い授業のようだ。</p>	<p><生物基礎> 説明を補助するプリントを配付し、練習問題をなるべく取り入れ、生徒に理解力を身につけさせる。遺伝における転写と翻訳の現象は、その動きをいかにイメージできるかにかかっているため、教材や説明等を工夫する。</p> <p><物理基礎> 基本的計算力や比の考え方が身につく様に配慮しながら、力と運動の法則・力学的エネルギーに関する授業を進め、宿題や小テストによって定着度を確認する。</p>
体育	<p><体育> 集団行動・陸上競技・球技(バレーボール・バスケットボール・ソフトテニス・ソフトボール・サッカー)を実施。特に授業に関してはこれといった問題はない。「選択種目は楽しい」「もっと球技をやりたい」などの感想があった。充実度と取り組む姿勢は、非常に高かった。</p> <p><スポーツⅡ、フィールドスポーツⅠ> 特に問題なし、どの科目でも一生懸命に取り組む姿勢がみられ、積極的に活動に取り組んでいる。どの項目も高い評価を得た。</p>	<p><体育> 特に問題はないが、施設充実が可能であれば、さらに良い授業が展開できると思う。生徒主体の授業を心がけ、今やっている授業をより充実させ、生徒の意欲・関心を低下させない授業展開が大切である。また、将来のスポーツ活動に役立つ知識や技能の習得に役立つ教材の精選や指導を心がける事が必要である。</p> <p><スポーツⅡ、フィールドスポーツⅠ> 特に問題はないが、施設充実が可能であれば、さらに良い授業が展開できると思う。今やっている授業をより充実させ、生徒の意欲・関心を低下させない授業展開が大切である。また、将来のスポーツ活動に役立つ知識や技能の習得に役立つ教材の精選や指導を心がける事が必要である。専門性を高めレベルの高い授業を展開する。</p>
保健	<p>「生涯を通じる健康」の内容を行った。特に問題のあるクラスはない。「いつも楽しい授業です」「教科書以外のことも、詳しく説明してくれる」などの感想があった。充実度と取り組みは一年よりやや低い、態度・姿勢は高い。単元が難しいこともあったと思われる。</p>	<p>特に問題はない。今やっている授業をより充実させ、生徒の興味・関心を引く教材の精選や授業のやり方などの工夫が必要である。生徒自ら考えさせるグループワークを増やす必要があると考える。</p>
美術	<p>すべての項目で「とても当てはまる」、「だいたい当てはまる」が90%以上であった。満足度の高い評価となっているが真剣に課題に取り組む生徒も多いが、集中力に欠け、最後まで根気強く取り組めないことがある。</p>	<p>2学期は工芸課題があるので、制作工程(プロセス)が非常に重要になってくる為、理解が深められるようにプリントや教材見本など工夫して取り組みたい。充実して制作活動ができるように教材の準備を徹底する。</p>
音楽	<p>全ての項目で「かなり当てはまる」と「ほぼ当てはまる」の高評価が90%を占め、概ね良好な結果がでている。</p>	<p>2学期はアンサンブルなど自主的に活動していくことが多くなるので、それぞれに合った課題を出し、より音楽を愛好する心を育てよう、様々な音楽に触れるようにしていく。</p>
英語	<p><コミュ英Ⅱ> すべての項目において、「かなり当てはまる・ほぼ当てはまる」との回答が7割を占めている。</p> <p><発展英語A> すべての項目において、「かなり当てはまる・ほぼ当てはまる」との回答が8割強を占めている。</p>	<p><コミュ英Ⅱ> 残り3割の生徒にも各項目の狙いを授業のなかで実感できるよう配慮を入れたプリント等でフォローする。</p> <p><発展英語A> 概ね良好な結果であったが、生徒の主体性や充実感を高める手立てとして、基礎事項を活用できる補助教材の開発に努める。</p>
家庭	<p>フードデザインにおいて、項目4,5,7評価で「とても/だいたいあてはまる」回答が100%であった。8名受講のクラスで、項目1,2,3,6評価でそれぞれ一人ずつあまり当てはまらない」回答があった。</p>	<p>1学期は、まず座学にて学びを深めてから実習に入っているため、調理実習回数は多くはない中、このような回答を得られた。今後は更に実習回数も増える計画を立てており、専門的な学びの中で実習を通し、生徒の学習に対する満足度をあげていきたい。</p>
情報	<p>「あまり当てはまらない」と「ほとんど当てはまらない」という生徒が一定数存在する。少数で行われている科目であるが、その中で学力差等が大きく出てきていることが原因であると思われる。</p>	<p>MicroBitを使いプログラミングを学習することにより興味関心を高め、また、学力差を吸収するような教材と授業展開を進めていく。</p>

令和元年度 生徒による授業評価の分析と改善方針(3学年)

	集計結果による分析	改善方針
国語	<p>『古典精読』、『国語探究』、『精選現代文』、『理系現代文』すべてにおいて評価2や1がほとんどない、概ね良好な結果だった。生徒の学習に対する意欲の高さがうかがえる。</p>	<p>生徒各自の進路実現にむけて授業内容の充実を図ること、またより主体的に取り組むことのできる授業展開として、グループによる言語活動などを積極的に授業に取り入れていく。</p>
社会	<p><日本史B> ほとんどの項目で「当てはまる」の回答が90%以上と良好な評価であったが、生徒自身の学習状況については「ほとんど当てはまらない」の回答もいるなど、生徒によっては学習意欲が十分にないことが伺える。</p> <p><世界史B> すべての項目で「かなり当てはまる」「ほぼ当てはまる」の回答が9割以上と良好な評価であったが、他の項目に比べて、項目2・項目5において「当てはまらない」という回答が多いので、他者と話し合ったり、協働して作業したりする活動が少ないことが伺える。</p> <p><政治経済> どの項目も「当てはまる」の回答が90%以上と全体的には良好な評価であったが、項目3はやや「当てはまらない」という回答の割合が高く、自分の考えをまとめる活動が不足していることが伺える。</p> <p><新聞購読> どの項目もほとんど全員が「当てはまる」という回答をしており高い評価であるが、項目1は「かなり当てはまる」という回答がほかの項目に比べ少ないので、毎時間の授業におけるねらいの提示・振り返りに改善の余地がある。</p>	<p><日本史B> 進路決定が進んでいく中、進路別クラス編成を活かしてそれぞれの授業を組み立てることで、生徒一人ひとりの学習意欲を向上させていく。</p> <p><世界史B> グループワーク等を取り入れて、お互いの意見を共有したり、協働して何かを作成して発表したりといった活動を取り入れていく。</p> <p><政治経済> 2単位のため授業時数の関係で限界があるが、生徒が自己の考えをまとめる授業をできるだけ増やしていく。</p> <p><新聞購読> 新聞を読み、内容や意見をまとめて発表するという流れを繰り返す中でマンネリ化が生じないためにも、毎回の授業で前回よりも改善すべきポイントを示し、こまめにフィードバックを行っていく。</p>

<p>数学</p>	<p>〈数学Ⅲ〉 生徒は全員が理科系であり、各人の進路での必要性や高い好奇心のため、すべての項目で95%以上の生徒が「かなり当てはまる」「ほぼ当てはまる」と回答している。</p> <p>〈数学探究A〉 項目6と項目7においては「かなり当てはまる」「ほぼ当てはまる」の割合が9割近くの高い数値となっているが、その他の項目については8割以下にとどまる。問題演習が中心の授業展開で、教員主導で生徒のレベルアップを図る必要もあり、生徒の意識と若干差があるようだ。</p> <p>〈数学探究B〉 ほとんど全ての項目で、『かなり当てはまる』『ほぼ当てはまる』と回答されていて、良好な結果が得られた。『数学Ⅲ』同様、生徒全員が理科系であり、各人の進路での必要性や高い好奇心をもって取り組んだためと思われる。</p> <p>〈数学探究C〉 すべての項目において、『かなり当てはまる』『ほぼ当てはまる』の割合が6,7割程度であり、生徒の意見を真摯に受け止め、授業全体の見直しが必要であると考えられる。</p> <p>〈数学探究D〉 ほとんど全ての項目で、『かなり当てはまる』『ほぼ当てはまる』と回答されていて、良好な結果が得られた。『数学Ⅲ』同様、生徒全員が理科系であり、各人の進路での必要性や高い好奇心をもって取り組んだためと思われる。しかし、項目2については『かなり当てはまる』『ほぼ当てはまる』の割合が80%を切っており、生徒どうして意見を共有できるような時間があまりとれなかったためだと思われる。</p>	<p>〈数学Ⅲ〉 2学期はいよいよ微分・積分に入る。1学期同様に、生徒が問題を解く演習時間を十分に確保する一方で、物理的な事柄との関係も強調して、上級学校へ進学した後の学力の基礎作りをする。</p> <p>〈数学探究A〉 生徒自らが考え問題解決が出来るように基礎力を充実させ、教室内の雰囲気、互いに教え合い学び合えるように工夫する。問題を解く楽しさ、面白さで充実感が感じられる授業にする。</p> <p>〈数学探究B〉 1学期の取組をさらに深化させ、高校生活で学んだ数学の総決算となるよう指導する。</p> <p>〈数学探究C〉 生徒の満足を得るための工夫を追求することに加え、1学期の取組をさらに深化させ、高校生活で学んだ数学の総決算となるよう指導する。</p> <p>〈数学探究D〉 1学期の取組をさらに深化させ、生徒どうして意見を共有できる時間を確保するとともに、高校生活で学んだ数学の総決算となるよう指導する。</p>
<p>理科</p>	<p>〈生物、発展生物、自然観察〉 評価2や1がほとんどない、概ね良好な結果だった。</p> <p>〈物理・発展物理〉 学習の状況についての質問項目で、評価が少し低めだったことから、生徒によっては授業で何かを得た実感が少ないということがわかった。</p> <p>〈地学基礎〉 どの項目も大多数の生徒が肯定的な評価をしている。宇宙や地球科学に興味を持って選択してきた生徒が多いようだ。</p>	<p>〈生物、発展生物、自然観察〉 今後も生徒が理解しやすい授業ができるよう、しっかりと準備する。</p> <p>〈物理・発展物理〉 生徒に授業で何かを得た実感を与えるため、一人、もしくは複数人で考え出したことが、これまでの学習、もしくは今後の学習につながるという意識を持たせるよう導いていく。</p> <p>〈地学基礎〉 後半の授業では火山や地震や気象を扱うが、生徒の興味・関心を更に伸ばせる様に授業を進める。</p>
<p>体育</p>	<p>〈体育〉 各自が選ぶ選択別の球技を中心とした授業を実施した。生徒各自が自分の好きな種目を選んで行う授業のためかそれぞれが自主的・意欲的に運動に関わり、とてもよい雰囲気で行われた。「毎時間、積極的に取り組むことができた」「自主的にできる時間が多くあるのでとても楽しかった」などの感想があった。1、2年と比べ、充実度、取り組みは非常に高かった。</p> <p>〈スポーツⅡ、スポーツ指導法Ⅱ〉 特に問題なし、どの科目でも一生懸命に取り組む姿勢が見られ、積極的に活動に取り組んでいる。どの項目も高い評価を得た。</p>	<p>〈体育〉 特に問題はないが、施設充実が可能であれば、さらに良い授業が展開できると思う。今やっている授業をより充実させ、生徒の意欲・関心を低下させない授業展開が大切である。また、将来のスポーツ活動に役立つ知識や技能の習得に役立つ教材の精選や指導を心がける事が必要である。個人・チームの課題解決について多くアドバイスし、自ら課題解決できるように促す。</p> <p>〈スポーツⅡ、スポーツ指導法Ⅱ〉 特に問題はないが、施設充実が可能であれば、さらに良い授業が展開できると思う。今やっている授業をより充実させ、生徒の意欲・関心を低下させない授業展開が大切である。また、将来のスポーツ活動に役立つ知識や技能の習得に役立つ教材の精選や指導を心がける事が必要である。専門性を高めレベルの高い授業を展開する。</p>
<p>美術</p>	<p>すべての項目で「とても当てはまる」、「だいたい当てはまる」が90%以上であった。満足度の高い評価となっているが真剣に課題に取り組む生徒も多いが、最後まで根気強く取り組めないことがある。概ね良い結果ではあったが、課題については進め方をしっかり組み立てて最後まで根気強く取り組めるようにする必要があると感じた。</p>	<p>さらに積極的に授業にのぞめるように、作品制作の為の資料収集や鑑賞方法、素材研究など、授業以外での勉強方法についても指導していきたい。充実して興味を持って制作活動ができるように教材の準備を徹底する。</p>
<p>音楽</p>	<p>全ての項目で「かなり当てはまる」と「ほぼ当てはまる」の高評価が90%を占め、概ね良好な結果がでている。個人レッスンなので、①「はじめに学習の狙いを示す」ことや②「他者の考えを知る」ことが難しく、授業の展開を今後変えていく必要があると感じた。</p>	<p>レッスン時間が短いので、夏休みに希望者のみ個別で補習を行った。上達や成果が大きく見られたので、これからも放課後等に補習を行い授業のレッスン時間の短さをカバーしていく。人数が多くピアノに触れる時間が少ないので、個人レッスン時間の短さを改善する。</p>
<p>英語</p>	<p>〈コミュ英Ⅲ〉 ほとんどの項目で「かなり当てはまる」「ほぼ当てはまる」の回答が得られている。ただ「自らの考えを広げ深めることができた」の項目において「当てはまらない」生徒がいる点が気になる点である。</p> <p>〈発展英語B〉 ほぼすべての項目で「かなり当てはまる」「当てはまる」と回答している。大学入試レベルの問題演習が中心の授業なので、授業の中で自分の成長を感じる事が少ないようだ。</p>	<p>〈コミュ英Ⅲ〉 生徒が充実感を持てるような授業を展開し、生徒が主体的に学習へ取り組むことで、理解度を高め発展させられる姿勢を育てる。</p> <p>〈発展英語B〉 レベルの高い問題を解くだけでなく、その題材や文法事項を用いた発展的な学習につなげたい。また、他者の考えから自分の見識を深める経験をさせたいので、生徒同士で意見交換する機会を設ける。</p>
<p>家庭</p>	<p>10名のみ受講であるが、自選「子どもの発達と保育」において、項目1,2,3,6で100%の「とてもあてはまる」回答を得ている。年4回実施している保育園実習にむけた授業内容を中心に授業展開をしているため、生徒にとって主体的かつ実践的な学びがあり、得られた回答と思われる。</p>	<p>残り2回の実習にむけて授業展開・計画をもって、さらなる授業充実を図る。</p>